

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society, No. 39

目次

1. [会長就任にあたって](#)
2. [第30回平塚賞の選考を終えて](#)
3. [第30回平塚賞を受賞して](#)
4. [総会報告](#)
5. [役員一覧](#)
6. [新委員会委員長からのご挨拶](#)
7. [第57回大会開催について](#)
8. [お知らせ](#)
 - ・ [学生会員の2020年度会費免除について](#)
 - ・ [特別会員制度](#)
 - ・ [「比較国際教育リソースリンク」のご案内](#)

1. 会長就任にあたって

日本比較教育学会 会長
杉村 美紀

このたび、引き続き会長を務めさせていただきたくこととなりまして、あらためて気持ちが引き締まる思いです。2017年度からの3年間の活動では、皆様にはいろいろと支えていただけてまいりました。ここに重ねてお礼申し上げますとともに、これからの3年間は、積み残した宿題に取り組ませていただく覚悟で、微力ながら学会運営に取り組んでまいりたいと思いますので、あらためましてどうぞよろしくお願いいたします。

今年に入り世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症の問題は、国内外を問わず、生活全般に想像を超える甚大な影響を及ぼしており、世界中の人々が、自分の生活に直接関わることで同じ問題を同時に共有しています。こうした状況のなか、人間の尊厳を大切にしながら、持続可能な社会の担い手を育てる教育学の役割は本当に重要であると考えます。特に比較教育学は、比較という方法を共通の土台におきながら、研究対象とする地域性や研究内容の多様性を重視し、規範や実践の検討を行う学問であり、かつ研究方法論を支えるディシプリンにおいても、様々な価値体

系や意味体系が交錯する分野です。こうした特徴を活かし、その学問的貢献が真に求められていると思います。会員の皆様におかれましても、今は研究活動を進められるうえで様々な課題を抱えておられることと思いますが、学会としましては、こうした時だからこそ、研究者仲間の輪を大切に、かつ会員の皆様がそれぞれの教育研究活動の歩みを継続していただけるよう、励ましあい共に歩む活動ができればと考えております。

幸い、これまでも比較教育学会では、1965年の発足以来、今年で55年になる歩みの中で会員の皆様のご協力により様々な活動が展開されてきました。ここ数年では、情報共有や発信、国内外における交流の活発化を企図して、メーリングリストの活用とニュースレターの電子配信が始まり、あわせて学会紀要『比較教育学研究』のJ-Stageへの電子登録を順次進めています。またこれらを運営するにあたり、今般、広報委員会が新たに組織されました。今後は、会員の皆様の様々な優れたご研究や活動成果を礎に、国内外の学会等との連携や幅広い情報発信を通じ交流を図っていきたいと考えています。他方、会員の皆様からのご意見に基づき、学会の会員制度についても新たな制度が加わりました。それは、会員の多様化に伴い、2020年度から、会員として10年以上ご貢献くださった方々を対象に、一般会員と同等の処遇を維持しつつ会費が減額される特別会員制度が発足したことです。さらに、今般の感染症問題に鑑み、2020年度については学生会員費を無償とする特別措置を取らせていただくこととなりました。

いまだ感染症の終息の見通しが立たない中では、今後も学会活動の在り方を臨機応変に変更していかざるを得ない点もあるかと思いますが、比較教育学会が発足以来築いてきた活動の蓄積を大切に、皆様とともに支えあい、ともに活動する学会であるように努めたいと思っております。今後も、皆様からの忌憚のないご意見やアイデアをお待ち申し上げますとともに、引き続き学会の活動に対してご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2. 第30回平塚賞の選考を終えて

平塚賞運営委員会 委員長
服部 美奈

第30回平塚賞候補作品を2020年1月31日(必着)締め切りで募集した結果、自薦、他薦あわせて計3本の著作の応募がありました。

慎重な審査の結果、関口洋平会員の著作『現代ベトナム高等教育の構造：国家の管理と党の領導』(東信堂、2019年3月25日刊行)を平塚賞受賞作品とし、関口会員に平塚賞を授与することを決定しました。委員会においては、1)ベトナムを体制移行国として位置づけ、ロシアと中国との比較検討から同国の高等教育の構造を多方面から分析して纏め上げた労作である、2)ベトナムの高等教育にかかる史資料を英語、ベトナム語、中国語、ロシア語文献も含めて凌駕し、かつ現地での調査をふまえて分析している等、高い評価を得ました。

昨年度に続き、平塚賞の授与を委員・理事会一同、大変嬉しく思っております。今年度もまた、積極的な応募をお待ちしています。

3. 第30回平塚賞を受賞して

関口 洋平 (畿央大学)

このたびは、拙著『現代ベトナム高等教育構造：国家の管理と党の領導』が日本比較教育学会第30回平塚賞という大変名誉な賞を頂戴いたしましたこと、心から感謝申し上げます。平塚賞の受賞はこれまでご指導をいただいた先生方、先輩のみなさまのおかげであり、激励であると受け止めて、今後はいっそうよい研究をしようと思いを強くしております。

拙著は、市場化と国際化を急速に進めてきた現代の社会主義国ベトナムにおいて、大学の理念型や自治的な運営の実態とはどのようなものであるのかという視点から、主として文献調査と現地での聞き取り調査を通じて、ベトナム高等教育の構造について明らかにすることを目的としたものです。拙著において試みようとしたことの1つは、ベトナムを移行経済期にある社会主義国（体制移行国）という視点から捉えたうえで、同様の国家体制をとる中国や、民主化を経験したロシアといった国々の高等教育システムとの横断的な比較検討を通じて、体制移行国の高等教育変容の共通の特徴やベトナム高等教育の独自性を明らかにしようとしたことです。このたび、学会賞の受賞という形で拙著を認めていただけたことは、共通の土台をもつ国々の教育を対象とする場合には国家を単位とした比較分析の手法があらためて比較教育学研究において有効であり、また、研究対象のおもしろさを提示するものであると認めていただいたものと感じております。

今後は、比較教育学会への貢献をより豊かにおこなっていただけるように、「教育とは何か」ということを考えいくうえで、他の教育学分野における研究には解消されないようなオリジナリティの高い比較枠組みや理論の構築と同時に、ベトナムの教育を対象としてより深みのある地域研究を進めていきたいと思っております。こうしたことを今後の課題として、研究に励んでいきたいと思っております。今後ともどうぞご指導・ご鞭撻くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

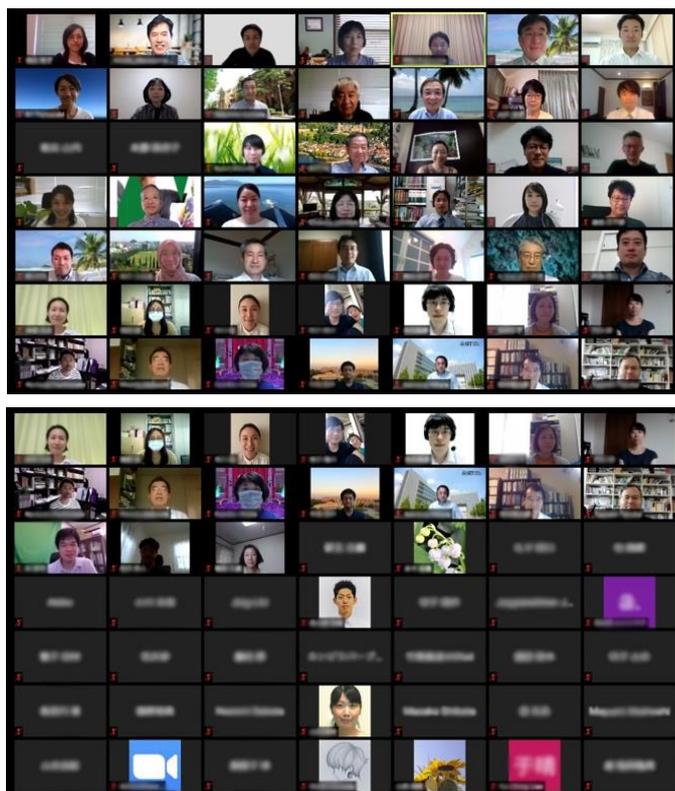


4. 総会報告（第56回大会総会）

2020年8月2日（日）に、第56回大会総会がオンラインにて開催されました。総会の議事次第は以下の通りです（2019年度決算報告及び2020年度予算案は別途送付いたします）。

議事次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長団選出
4. 2019年度事業報告（事務局、各種委員会）
5. 平塚賞授賞式と記念撮影
6. 第56回大会の中止について
7. 2019年度決算報告および監査報告
8. 選挙管理委員会報告
9. 会長挨拶（2019年度の締め括り）
10. 会長挨拶（2020年度開始）
11. 2020年度事業計画（事務局、各種委員会）
12. 監査の委嘱について
13. 特別会員新設および会則改正について
14. 広報委員会の設置について
15. 2020年度予算案
16. 第57回大会について
17. 閉会の辞



5. 日本比較教育学会役員一覧（2020～2022年度）

- 会長 杉村 美紀（上智大学）
- 事務局長 丸山 英樹（上智大学）

●理事（○印は常任理事）

〔北海道・東北地区〕（2名）

- 清水 禎文（宮城学院女子大学）
- 米澤 彰純（東北大学）

〔関東地区〕（15名）

- 一見 真理子（国立教育政策研究所）
- 鴨川 明子（山梨大学）
- 川口 純（筑波大学）
- 北村 友人（東京大学）
- 黒田 一雄（早稲田大学）
- 澤野 由紀子（聖心女子大学）
- 杉村 美紀（上智大学）
- 長島 啓記（早稲田大学）
- 西村 幹子（国際基督教大学）
- 浜野 隆（お茶の水女子大学）

- 福留 東土（東京大学）
- 藤井 穂高（筑波大学）
- 丸山 英樹（上智大学）
- 森下 稔（東京海洋大学）
- 渡邊 あや（津田塾大学）

〔東海・北陸地区〕（3名）

- 服部 美奈（名古屋大学）
- 松本 麻人（名古屋大学）
- 山田 肖子（名古屋大学）

〔近畿地区〕（6名）

- 乾 美紀（兵庫県立大学）
- 澤村 信英（大阪大学）
- 杉本 均（京都大学）

近田 政博 (神戸大学)
○南部 広孝 (京都大学)
山内 乾史 (神戸大学)

〔中国・四国地区〕(4名)

小川 佳万 (広島大学)
日下部 達哉 (広島大学)
○中矢 礼美 (広島大学)
吉田 和浩 (広島大学)

〔九州地区〕(2名)

佐藤 仁 (福岡大学)
○竹熊 尚夫 (九州大学)

●監査

内海 成治 (京都女子大学)
末藤 美津子 (東洋学園大学)

●幹事 (○印は常任幹事)

〔北海道・東北地区〕

青木 麻衣子 (北海道大学)

〔関東地区〕

○鎌田 武仁 (上智大学)
○荻巢 崇世 (上智大学)
○久志本 裕子 (上智大学)

〔東海・北陸地区〕

カンピラパーブ・スネート (名古屋大学)
二井 紀美子 (愛知教育大学)

〔近畿地区〕

江田 英里香 (神戸学院大学)
中島 悠介 (大阪大谷大学)

〔中国・四国地区〕

牧 貴愛 (広島大学)

〔九州地区〕

坂本 真由美 (中村学園大学)

【委員会】

●平塚賞運営委員会 (10名)

委員長 竹熊 尚夫

委員

服部 美奈

小川 佳万

杉村 美紀

南部 広孝

森下 稔

鴨川 明子

杉本 均

乾 美紀

中矢 礼美

●紀要編集委員会 (14名)

委員長 (前期) 南部 広孝

委員長 (後期) 森下 稔

委員

杉本 和弘

藤井 穂高

澤野 由紀子

植田 みどり

山田 肖子

山内 乾史

佐藤 仁

古田 弘子

浜野 隆

米原 あき

鈴木 康郎

編集幹事 (前期) 田村 徳子

編集幹事 (後期) 花井 渉

●研究委員会 (7名)

委員長 乾 美紀

委員

澤村 信英

福留 東土

鴨川 明子

黒田 千晴

牧 貴愛

市川 桂

●国際交流委員会 (5名)

委員長 北村 友人

委員

劉 靖

内海 悠二

芦田 明美

関口 洋平

●RICE 担当理事

黒田 一雄

●教育学関連学会協議会担当理事

中矢 礼美

●広報委員会(5名)

委員長 川口 純

委員

島埜内 恵

坂口 真康

徳永 智子

丸山 英樹

6. 新委員会委員長からのご挨拶

平塚賞運営委員会

委員長 竹熊 尚夫

今年度より平塚賞運営委員会委員長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。平塚賞運営委員会では本年も、第31回平塚賞の候補作品を募集します。自薦、他薦は問いません。比較教育学研究の優れた作品をお待ちしています。下記の応募要領を確認いただき、奮ってご応募下さい。

記

1. 対象作品：2020年1月～12月に公刊された比較教育学に関する著書・論文（分担執筆を含む。ただし連名のものを除く）。
2. 応募要領：本学会ホームページ掲載の「平塚賞候補著書・論文推薦書」（Word または PDF）に必要事項を記入し、当該著書・論文1部とともに提出すること。
3. 締め切り：2021年1月29日（金）（必着）
4. 送付先：
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1
第2ユニオンビル4F（株）ガリレオ気付
日本比較教育学会・平塚賞運営委員会
委員長 竹熊尚夫 宛
5. 問い合わせ先：g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp

紀要編集委員会

委員長（前期） 南部 広孝

これから3年間のうち、前半の1年半（第62号～第64号）紀要編集委員長を仰せつかりました南部です。よろしくお願い申し上げます。前期は副委員長で後半の1年半に委員長をお務めいただく森下稔理事、編集幹事の田村徳子会員とともに、また紀要編集委員に協力いただきながら、読み応えのある紀要を期日通りに刊行できるよう作業を進めてまいります。ただ、紀要の水準を維持向上させるためには、会員諸氏による優れた研究論文の投稿が重要なことは言うまでもありません。次号第63号の論文投稿は2021年1月20日が締め切りとなっています（投稿先は下記枠内の通りです）。会員の皆様には精力的なご執筆と積極的な投稿をお願いしたく存じます。

現在、第62号の編集を進めております。投稿論文は14編あり、そのうち3編は形式審査で不受理とし、11編について査読を行いました。これまでも繰り返し注意喚起されてはいますが、投稿にあたっては投稿要領をよく確認し、それを遵守していただきたく存じます。よろしくお願ひいたします。

【原稿提出・連絡先】 紀要編集委員会事務局 (第62号～64号)

住所：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院教育学研究科内

日本比較教育学会紀要編集委員会事務局

Email: jces.kiyou@gmail.com Tel: 075-753-3039 (南部広孝 研究室)

研究委員会

委員長 乾 美紀

杉村会長のもと、研究委員会委員長を拝命致しました。さまざまな課題のある中で、委員長を拝命したことに責任の重さを感じながら、皆様のご期待に添えるよう精一杯努めます。研究委員会の計画は大きく分けて三つあります。一つ目は学会科研の企画と申請です。森下前委員長の通称「ボーダー科研」が続行中ですが、小職が持つ通称「OOSCY (ウスキー) 科研」が本年度で終了しますので、新たな企画を検討中です。二つ目は学会大会において課題研究を企画することです。三つ目は、若手会員の支援事業です。これまでの委員長が進めてこられた学会大会におけるラウンドテーブルの企画や若手支援講座の企画を継続する予定です。既にオンライン講座「ウィズコロナ時代の海外調査」を開催し、海外調査が難しい中で、どのように研究を進めるかについて研究委員、学会員、若手会員が活発に議論を交わすことができました。3年間どうぞよろしくお願いいたします。

国際交流委員会

委員長 北村 友人

今年度より国際交流委員長を務めさせていただきます。今期の国際交流委員会では、2つの課題に挑戦していきたいと考えています。第一に、国際交流委員会の役割の再定義です。もともと国際的な視点から教育という事象を捉え、研究対象とする国や地域と密接な繋がりを持ちながら研究活動を行っている会員が多い本学会において、あえて学会として行う国際交流活動はどのようなものであるべきなのか、改めて考えてみたいと思います。第二に、新型コロナウイルスの影響で物理的な移動が制約されるなか、オンラインを活用した国際交流のあり方を積極的に検討して行きたいと思います。こうした2つの課題に対して取り組んでいくうえで最も大切なことは、国際交流活動により多くの会員の方々に参加していただくことです。そのために、会員の皆さまから国際交流委員会に対して、ぜひご意見や国際交流活動の企画に関するアイデアをお寄せいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会

委員長 川口 純

今期より、新たに広報委員会が新設されました。これまで、学会ホームページの更新、MLの運用、学会誌のJ-Stageへの掲載など、学会事務局で担っていた広報関連業務は、今後、広報委員会へと引き継がれます。

また、新企画として、Facebookを活用した広報活動を実施していく計画にしています。これまでの広報活動は、学会事務局から一方的な情報発信がメインでしたが、Facebookは会員間の双方向的な情報発信のツールとして新たに試行されるものです。運用が開始されましたら、皆様の関連なご活用をどうぞよろしくごお願い致します。具体的な活用方法については、追って、ご連絡させていただきます。

RICE

担当理事 黒田 一雄

「比較・国際教育情報データベース(RICE)」担当理事を拝命しました早稲田大学の黒田です。RICEは20年以上前に構築され、現在50000件以上の比較国際教育関連の文献が登録されているデータベースです。まさに学会の貴重な財産です。ただ、研究情報・論文と紐づけられ、検索方法も精緻化した電子的な研究文献データベースが飛躍的に発達した今日、RICEを今後どのように運用・活用し、見直していくのかという課題に向き合わなければなりません。そのため、会員の皆様のRICEの活用事例や今後に関するご意見を、ぜひかがいいたいと考えております。何卒、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

世界比較教育学会 (WCCES) からのお知らせ

WCCES 担当理事 杉村 美紀

1. 延期されていた第3回WCCESシンポジウムは、本年11月にオンラインで実施される予定です。詳細は決まり次第メーリングリストでお知らせします。
2. WCCES第18回世界大会は2022年7月18-22日(仮)にインドのバンガロールにおいてオセアニア比較教育学会及びインド比較教育学会共催で開催予定です。
3. WCCESの常設事務室が今般、ジュネーブにあるUNESCO-IBE(国際教育局)のなかに設置されました。
4. WCCESの新規加盟学会として、Global Africa Comparative and International Education Society (GA-CIES)が加わりました。
5. WCCESでは近年Book SeriesがBrill/Sense Publicationsから出版されています。第1作目“Relationality and Learning in Oceania: Contextualizing Education for Development”に続き、第2作目として“Migrants and Comparative Education: Call to Re/engagement”が刊行されました。詳細はWCCESウェブサイトをご参照ください。
<https://www.theworldcouncil.net/wcces-brill-sense-book-series.html>
6. WCCESのウェブサイトでは、皆様からの声や情報を集めたWorld Vices Nexusが公開されています。<https://www.worldcces.org/>

教育関連学会協議会

担当理事 中矢 礼美

本年度より教育関連学会協議会の担当を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。教育関連学会は2013年に結成された全国の教育関連学会の緩やかな連合体で、研究交流やシンポジウムを開催しています。先日もメーリングリストで公開シンポジウムのご案内をさせていただきました。奮ってご参加ください。

今後は年に一度開催される総会に出席し、審議事項がある場合には比較教育学会の意見をとりまとめ、協議会に報告していきたいと思います。

7. 第57回大会開催について

2021年に予定されている第57回大会については、筑波大学が大会開催をお引き受けくださいました。大会準備委員長は藤井穂高会員が、事務局は田中正弘会員がお務めくださいます。コロナ禍の影響と収束がまだ見通すことができない中、筑波大学の先生方のご英断とご配慮に心からお礼申し上げます。開催日程や方法等については、状況を考慮しながら今後より良い方策を検討してまいります。詳細は決まり次第、別途ご連絡いたします。

8. お知らせ

- 2019年度 会計報告
Web版では非公開

- 2020 年度 予算案

Web 版では非公開

- 学生会員 2020 年度会費免除について

今般のコロナウイルス感染症問題は、依然として終息の見通しが定まらず深刻な状況が続いております。日本比較教育学会としては、教育研究活動が様々な制約を受けている状況において、学会における研究者仲間の輪を大切に、かつ会員の皆様がそれぞれの教育研究活動の歩みを継続していただけるよう、限られた範囲ではありますが、励ましあい共に歩む活動ができればと考えております。

そこで、学会では、全国理事会において、2020 年度の学生会員の会費を一律に免除する措置をとることを決定いたしました。ここでいう学生会員は、2020 年 4 月 1 日時点で学生会員であった者、および 2020 年度に学生会員として新規に入会した会員を指します。

実施にあたっては、2020 年度会費をまだ納めていない方は納入免除を、またすでに 2020 年度会費を納入くださっている方については、2021 年度の会費を徴収しないかたちで対応させていただきます。これらは、自動的に学生会員に適用されますので、学生会員の方が別途申告等の手続きをしていただく必要はありません。

いずれも、次年度の学会大会には発表申し込みをしていただくことが可能です。また学会紀要も送付されますが、2019 年度までの会費未納の方には、これまでも過年度の会費が未納の方にはお送りしていませんので、2020 年度会費が免除になっても送付されません。

本学会では、「3 年以上会費の納入を怠った者は、会員としての資格を失う」（会則第 8

条) となっています。納入された会費は年度が古いものから充当させていただくことも申し添えます。2019年度までに会費未納分があった方についてはご注意ください。

本免除措置の運用については、会員各位に、学会活動の特徴と意義をよくお汲み取りいただき、良識ある判断と対応をお願いしたいと思います。本件につき、ご質問等あります場合には、学会事務局 (jcesjimu@outlook.jp)までご連絡ください。重ねまして皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

● 特別会員制度

このたび、日本比較教育学会では、会員の区分に新たに「特別会員」を設けさせていただくことになりました。「特別会員」は、「本会に対して一定の貢献があり、原則として10年以上にわたり本会の会員である者。かつ、常勤の定職にはついておらず学生の身分ではない者。」と定義され、会費は年額6000円とし、選挙権・被選挙権は一般会員と同等で、学会紀要も一般会員同様に送付されます。

特別会員は自己申請制となっており、希望される場合には、学会事務局にお申込みいただき、常任理事会の承認を得ていただくことになっております。特別会員への申請を希望される会員がおられましたら、下記の事務局連絡先までご連絡ください。

なお特別会員の制度は2020(令和2)年度より施行されますので、2020年4月1日に遡り年会費6000円が適用になります。特別会員を希望される会員で、すでに2020年度一般会員費(1万円)を納めていただいている場合には、次年度会費を減額するかたちで対応させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【特別会員の申請連絡先】

jcesjimu@outlook.jp

● 「比較国際教育リソースリンク」のご案内

この7月まで国際交流委員会委員長を務めておりました早稲田大学の黒田一雄です。前期の国際交流委員会では昨年度、インターネット上の比較国際教育学関連の研究リソースについて、会員の皆様の一層の活用を促進するため、学会ホームページの「リンク集」の改定を進めてきました。しかし、任期中に改定を終えることができず、公表に至りませんでしたこと、深くお詫び申し上げます。ようやく、10月中には学会ホームページ上で公開できる目処が立ちましたため、このニュースレターで若干の説明をさせていただきます。

このリンク集には、「1. 世界の比較教育学会(WCCESの加盟団体一覧に直接リンク)」「2. 比較国際教育関係文献データベース(10サイト)」「3. 各国教育状況・教育政策の確認(8サイト)」「4. 比較国際教育関係数量データ(27サイト)」「5. 比較国際教育分野研究センター(11サイト)」「6. 比較国際教育分野別リソース(9サイト)」「7. 教育関連主要国際会議・国際機関政策文書・報告書(52サイト)」の7項目・118サイトをリンクしております。

このリンク集を作成しましたのは、第一に、学会員の先生方・学生のみなさんが各国の教

育を研究調査される場合に、現地でのフィールドワークの前に実施される既存データ・資料の収集の一助としていただきたいとの思いでした。各国ごとの教育省や教育研究所のリンクはあまりに長大になり、また容易に検索で発見することができるため、このリンク集には含めませんでした。国際機関や研究機関などが提供する各国の教育政策や教育統計に関する国際的なデータのプラットフォームを2から6でリンクしました。第二に、各国の教育の展開や教育の世界的動向を理解するときに、ますます重要になってきつつある教育におけるグローバルガバナンスや国際潮流に関する基本資料を示すサイトを提示することに努めました。この関連では大変多くの Web 上のリソースが候補に挙がったのですが、厳選して7の「教育関連主要国際会議・国際機関政策文書・報告書」の項目にリンクしました。このリンク集を、会員の皆様のご研究や比較教育学の授業・教育で、ご活用いただけることを願っています。

最後になりますが、このリンク集の作成にご協力・ご尽力いただきました前国際交流委員会委員の丸山英樹会員、米原あき会員、山田肖子会員、林真樹子会員、そしてリサーチアシスタントとしてサイトの収集・整理にあたってくれた早稲田大学アジア太平洋研究科のラジャイ麗良さん、ナカサト・ローレンさん、ジェイソン・レイモンドさんに、この場を借りまして、御礼申し上げたいと思います。

● 学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承ください。

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学グローバル教育センター207

日本比較教育学会事務局（丸山研究室）

E-mail: jces.jimu@outlook.jp

TEL: 050-5800-4873

(不在のことが多いため、できるだけメールでご連絡ください。)

青木麻衣子・佐藤博志編 (2020) 『オーストラリア・ニュージーランドの教育 第3版』 東信堂 (<https://amzn.to/33WIDbo>)

田村徳子 (2020) 『ブラジルの校長直接選挙』 東信堂 (<https://amzn.to/2RSxMIM>)

齋藤隆彦・石井由理・熊井 将太編 (2020) 『成長するアジアにおける教育と文化交流』 溪水社 (<https://amzn.to/2Eqv0aF>)

山内乾史 (2020) 『「大学教育と社会」ノート：高等教育論への誘い』 学文社 (<https://amzn.to/3i3ws0F>)

ダニエル・A・ワグナー著 前田美子訳 (2020) 『SDG s 時代の国際教育開発学：ラーニング・アズ・ディベロップメント』 法律文化社 (<https://amzn.to/2Gi2IQD>)

関口礼子 (2019) 『日本の教育関与 80 年を振り返って：二つの提案：社会学的比較教育学の立場から』 日本の社会研究所

- 新入会員

Web版では非公開

(2020年9月13日現在の会員数：980名)

- 年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕00820-6-16161 日本比較教育学会事務局

【注意】

所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ず事務局へご連絡をお願いします。

「学生会員」として登録されている会員で、所属・身分等の変更により「学生」でなくなった方は、会員情報管理システムにて通常会員へ資格変更の上、通常会員としての年会費（10,000円）をお支払いただきます。

会員情報、入退会、会費、システム、HPIに関する連絡

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1
第2ユニオンビル4F
(株)ガリレオ東京オフィス学会業務情報化センター内
日本比較教育学会事務局
Tel : 03-5981-9824/ Fax : 03-5981-9852
E-mail : g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp
URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>